



GRIZZLY **グリズリー**

■カラー作品/トッドAO-35■

クリストファ・ジョージ ■ アンドリュー・ブライン ■ リチャード・ジャッケル ■ 製作・総指揮エドワード・L・モンロー ■ 監督ウィリアム・ガードラー ■ コロムビア映画

●全長ほぼ6メートル、体重およそ1トン余りのグリズリー。この巨大な怪物が人間を襲撃しはじめる――。

●「ジョーズ」は野生怪物の大暴れをスベクタクル・ショー仕立てに描く娯楽映画のきつかけをつくつたが、その後につづくものへの期待の中に最高のおもしろさと話題をこめて登場するのが、この「グリズリー」である。これは、「ジョーズ」のスリルとサスペンス、恐怖とおもしろさをしのぐといえる作品だ。

●「グリズリー」。この映画の主役であるグリズリーは、北米大陸の山地、および北方の寒帯森林に棲む灰色大熊のことである。学名をウルルス・ホリベリスというが、これは「恐るべきフン」という意味で、事実、このクマは大きな野牛や世界最大のヘラジカなどを前足の一撃で頭蓋を打ち砕き、苦もなく倒すといわれている。この映画にも、そのひと殴りで馬の首が吹つとぶという凄まじいシーンが出てくる。

●物語は、一言でいえば、アメリカのある国立公園を舞台にくりひろげられる、巨大なグリズリー・ベア対人間の戦争だ。

●主役のグリズリー・ベアは、リモートコントロールで動く電子機械でもなく、縫いぐるみでもない。まったくの「本もの」を出演させることに成功しただけあって、その迫力と恐怖感は圧倒的だ。

●主演男優は、いずれも人気TVスター「ラット・バトロール」のクリストファー・ジョージ、アンドロリュー・フラインと、「新・動く標的」のリチャード・ジャッケル。



7月31日(土) 話題の大ロードショー

道玄坂 渋谷スカラ座 (461) 1929

●特別鑑賞券 ¥1000 (一般 ¥1300 のところ 学生 ¥1100) 劇場窓口にて発売中!